

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【公開番号】特開2017-33437(P2017-33437A)

【公開日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-006

【出願番号】特願2015-154968(P2015-154968)

【国際特許分類】

G 06 F 17/30 (2006.01)

B 66 B 5/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/30 350 C

G 06 F 17/30 170 Z

B 66 B 5/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月7日(2017.8.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の信号を含む第1信号群を読み込む読み込手段と、

複数の信号を含む第2信号群が記憶された記憶手段と、

前記読み込手段によって読み込まれた第1信号群に含まれる信号と前記記憶手段に記憶された第2信号群に含まれる信号のうち第1信号群に含まれる当該信号に対応する信号との類似度を、第1信号群に含まれる複数の信号について算出する第1類似度算出手段と、

前記第1類似度算出手段によって算出された複数の類似度に基づいて、前記読み込手段によって読み込まれた第1信号群と前記記憶手段に記憶された第2信号群との類似度を算出する第2類似度算出手段と、

を備え、

前記記憶手段に複数の第2信号群が記憶され、

前記第1類似度算出手段は、前記読み込手段によって読み込まれた第1信号群と前記記憶手段に記憶された各第2信号群とについて信号間の類似度を算出し、

前記第2類似度算出手段は、前記読み込手段によって読み込まれた第1信号群と前記記憶手段に記憶された各第2信号群との類似度を算出し、

第1信号群及び各第2信号群は、エレベーターに備えられた複数のセンサからの信号を含み、

各第2信号群は、エレベーターの故障箇所を示す故障情報と紐付けて前記記憶手段に記憶された検索システム。

【請求項2】

表示器を制御する表示制御部を更に備え、

前記表示制御部は、前記第2類似度算出手段によって算出された類似度と第2信号群に紐付けられた故障情報とに基づいて、発生している可能性が高い故障箇所を前記表示器に表示させる請求項1に記載の検索システム。

【請求項3】

表示器を制御する表示制御部を更に備え、

前記表示制御部は、前記第2類似度算出手段によって算出された類似度順に、第2信号群を示す情報を前記表示器に表示させる請求項1に記載の検索システム。

【請求項4】

第1信号群及び各第2信号群は、信号長が異なる複数の信号を含み、

前記第1類似度算出手段は、類似度の最大値が信号長に因らず同じ値になるように信号間の類似度を算出する請求項1から請求項3の何れか一項に記載の検索システム。

【請求項5】

第1信号群及び各第2信号群は、重要度及び信号長が異なる複数の信号を含み、

前記第1類似度算出手段は、重要度が同じ信号については、類似度の最大値が信号長に因らず同じ値になるように信号間の類似度を算出する請求項1から請求項3の何れか一項に記載の検索システム。

【請求項6】

前記記憶手段に記憶された第2信号群に含まれる信号の中から除外信号を特定する特定手段を更に備え、

前記第1類似度算出手段は、前記特定手段によって特定された除外信号については、信号間の類似度を算出しない請求項1から請求項5の何れか一項に記載の検索システム。

【請求項7】

前記特定手段は、同じ故障情報が紐付けられた第2信号群について対応する信号間の類似度を算出し、その故障情報について類似度のばらつきが閾値を超える信号を特定し、全ての故障情報について類似度のばらつきが閾値を超える信号を除外信号に特定する請求項6に記載の検索システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この発明に係る検索システムは、複数の信号を含む第1信号群を読み込む読込手段と、複数の信号を含む第2信号群が記憶された記憶手段と、読込手段によって読み込まれた第1信号群に含まれる信号と記憶手段に記憶された第2信号群に含まれる信号のうち第1信号群に含まれる当該信号に対応する信号との類似度を、第1信号群に含まれる複数の信号について算出する第1類似度算出手段と、第1類似度算出手段によって算出された複数の類似度に基づいて、読込手段によって読み込まれた第1信号群と記憶手段に記憶された第2信号群との類似度を算出する第2類似度算出手段と、を備える。記憶手段に複数の第2信号群が記憶される。第1類似度算出手段は、読込手段によって読み込まれた第1信号群と記憶手段に記憶された各第2信号群とについて信号間の類似度を算出する。第2類似度算出手段は、読込手段によって読み込まれた第1信号群と記憶手段に記憶された各第2信号群との類似度を算出する。第1信号群及び各第2信号群は、エレベーターに備えられた複数のセンサからの信号を含む。各第2信号群は、エレベーターの故障箇所を示す故障情報と紐付けて記憶手段に記憶される。